

東由利村報

No.195

行
役場發行
秋田県東由利村1日1刷
昭和48年6月1日
印 KK本間印刷所

総数 6,862
男女 3,349
世帯数 3,513
人口 1,545

続けている
もので、少
人数複式は
正規の学級
編成ができる
規模の学
校に比較し
短所が多い
のは明白、
道路とスク
ールバス運
行は密接な
関係にあり
改良促進は
積極的に働
きかけて行
きたい。

年金の
五年年金
は明治39年
の五年年金
は、その後加入したくとも加
入された高令
者が加入して
いる五年満期
の特例年金で
す。

この年金は
加入したい人
だけが加入す
る、いわゆる
任意加入の国
民年金で、加
入できる期間
に生れた高令
者が加入して
いる五年満期
の特例年金で
す。

国民年金の
五年年金は
同44年4月1日まで
だとして未加入者にもう一度
見直しを実現
させたい。

年金加入チ
ャンス近し
がさす、未加
入者は今から
見直しを実現
させたい。

これまで老人福祉が不十分
だったため、加入者と未加入者では
老後の保障に大きな差がある
ことが予想されていたもので
す。

法内地区移動村民室



村長・助役・各課長等が地域に出向き、村政全般の諸問題について地域住民の意見や要望を聞き、村政に反映させることをねらいとする本年度初の移動村民室が、四月二十八日、法内小学校を会場に開催されました。

学校統合に質問集中

道路改良に大きな期待

当局側から村長・教育長・各課長などのほか、二名の教育委員、関係地域からは四十人余りの住民が出席して小学校統合問題に要望や意見が集中しました。

まず小松村長が、村政全般の現状と当面する課題について説明、その中で小学校統合問題については、①著じるし

い児童数の減少②各小学校校舎の全般的な老朽化③危険校舎部分の改修④学校建築に関する諸制度⑤道路等通学対策

化するため、小畠知事を先頭に関係部局長一行が、関係市町村の現地視察を行ないました。

二市九町二村にまたがる出羽丘陵地帯の開発計画を具体

化するため、小畠知事を先頭に関係部局長一行が、関係市町村の現地視察を行ないました。

二市九町二村に入りした知事一行は、村長を筆頭に村首幹部や議會議員の出迎えをうけ、向田部落で

一方地域住民側からは、小畠知事は、村が準備した

など小学校教育を取りまく諸般の事情を十分検討した上で統合すべき時機という判断に

面を明確に。⑤全村統合が目

標である以上段階統合は不要

でないか。(6)段階、全村と二

クーレバスの運行が可能か。

④統合のプラス面、マイナス面を明確に。⑤全村統合が目

標である以上段階統合は不要

